

大阪・関西万博 「週報」のお届け

日頃、お世話になっております。

大阪・関西万博については、いろいろな報道やご指摘をいただいております。

なるべく客観的な事実関係を中心に別添の通りまとめ、週一回を目処に定期的にお届けしております。合わせて、準備活動の現状や今後の予定なども簡潔に記載させていただいております。

お時間ありましたら、より詳細なご説明に伺いたいと存じます。

経済産業省 首席国際博覧会統括調整官 茂木 正

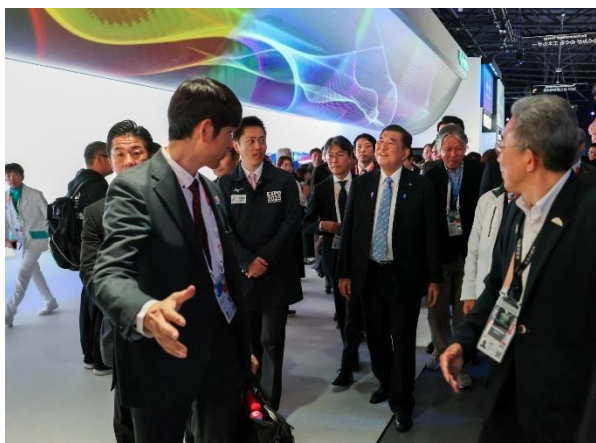
(お問い合わせ先) 経済産業省 博覧会推進室 担当： 参事官 奥田 修司
総括補佐 阿部 尚行

直通： 03-3501-0289

今週のピックアップ!

石破総理が「テストラン」を視察

- 4/5（土）、石破総理は、夢洲で行われていた万博テストランを視察。関係者を激励。
- その後の記者会見で「日本の新しい姿を世界に発信する万博になる」「1回来た人は必ずファンになって、世界に、日本中に発信できるものになる」旨発言。



【出典】官邸 HP <https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202504/05oosaka.html>
<https://www.kantei.go.jp/jp/103/statement/2025/0405kaiken.html>



1. 海外パビリオン探訪

※ それぞれ個性溢れる魅力的な海外パビリオンについて、経済産業省の担当者が毎週順不同で取り上げて紹介していくコーナーです。

① 米国



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 1970 年大阪万博と同様に、「月の石」を展示。「アルテミス計画」で活用する SLS ロケットの模型(高さ約 3 メートル)なども展示。
- パビリオンは、日本特有の美意識「わび・さび」から着想を得た木製のファサードと、三角形の平面をもつ 2 棟の建物。2 面の大型 LED スクリーンは、米国を象徴する画像や名所を映し出し、峡谷のような空間を作り出す。来場者が大きな夢を持ち、米国と共に歩んでほしいという願いを込めたもの。
- ナショナルデーは 7/19(土)。特別ゲストを招いたエンターテインメントと音楽ショー、そしてパレードを予定。

② トルコ



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- トルコの国旗がモチーフのパビリオン。波模様のファサードは地中海沿岸と黒海沿岸を象徴。入口上部に国家の誇りを表す「三日月と星」、内部にはトルコの月と日本の太陽をモチーフにしたシンボルを掲示。トルコの歴史的経験をいかに未来へのビジョンに変換するかを紹介する展示。
- ナショナルデーは 4/23(水)。

③ コロンビア



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 耐震性と省エネ性を兼ね備えた日本発の最新建築技術が使われたパビリオン。
- パビリオン内では、ノーベル文学賞作家ガルシア・マルケスの代表作「百年の孤独」の世界観を体験できるツアーの他、コロンビアの物産等の展示及び販売エリアなどを設置。
- ナショナルデーは 7/20(日)。

④ アルジェリア



(画像出典: Expo2025Visitors ホームページ)

- 240年前の石器セレクションなどアルジェリアの歴史を象徴する文物に加え、7つのユネスコ世界遺産を有する国として、ムザブの谷やタッシリ・ナジェールなど、同国にある世界遺産を紹介。持続可能性や食料、水、エネルギー、貧困の撲滅に関連したアルジェリアの世界的問題への取組も紹介。
- ナショナルデーは 7/10(木)。

2. イベント情報(開催日時:6/29~7/5)

※開幕第 12 週(6/29(日)~7/5(土))に会場内で予定される主なイベントを紹介します。

□EXPO 共鳴フェス in EXPO ホール

- 開催日:6/30
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 「Better Co-Being」の理念に共鳴いただいた方々とともに、展示、ワークショップ、ステージイベントなどを実施。

□日本の美と心が世界を繋ぐ「日本国際芸術祭」

- 開催日:7/2-6
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 「日本の美と心を世界に伝え、いのち輝く未来を創る」をミッションに、文化芸術と科学技術、経済社会の共創が生まれる 5 つのテーマを軸に展開。



□日本国際芸術祭 in EXPO 2025~KAGURA~

- 開催日:7/2-4
- 場所:ポップアップステージ南
- 神楽など日本伝統芸能や、日本が誇る優れた文化や芸能を上演。



□日本国際芸術祭 in EXPO 2025~日本の美、武士(サムライ)の心~

- 開催日:7/3
- 場所:ポップアップステージ南
- 日本で昔から変わらない、そして今も大切にされている日本の美と武士(さむらい)の心を伝統芸道である「吟詠(歌)」と「剣詩舞(舞)」でお楽しみいただきます。



Japan International Art Festival -The beauty of Japan, the spirit of Samurai-

□ 日本国際芸術祭～政や EXPO2025～

- 開催日: 7/4
- 場所: ポップアップステージ南
- 和太鼓と南米アンデスの民族楽器(ケーナ、サンポーニャ等)やアフリカ生まれアメリカ育ちの鍵盤打楽器(マリンバ)など民族音楽を加えた「政本憲一×和太鼓政や」のオリジナルオンステージ。ワークショップも開催。



□ アニメ・マンガ×フードフェス

- 開催日: 7/2-8
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 日本が世界に誇る二つの文化、アニメと食を融合させたイベント。人気アニメ作品に登場する魅惑的な料理を、日本を代表する企業が集まり展示。視覚と味覚で楽しむ、まさに「食べるアニメ」の世界へようこそ。



© 2024 FUTABA KIKAKU Co.,Ltd.

□ ALE For Earth 2025

- 開催日: 7/2-8
- 場所: ギャラリー EAST
- 人工流れ星を開発する ALE と、全国で竹あかりを灯している chikaken がタッグを組み、未来への祈りを込めて万博会場を彩ります。

□ 今日是一日鳥取県～まんが王国とつとりの魅力～ ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日: 7/1
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- トークショーやライブステージを通じて、「まんが王国とつとり」を中心とした鳥取県の魅力を国内外に広く発信。

□MERRY EXPO／MERRY SDGs ACTION 2025

- 開催日：6/29
- 場所：ポップアップステージ 東内
- SDGs ファッションショーやネパール初のヒーロー・MOMOTARO のダンスショー、笑顔の傘など、みんなが笑顔でつながるパフォーマンスステージをお届け。



□【ポーランド】ポーランドの EU 議長国就任の祝賀イベント

- 開催日：6/30
- 場所：EXPO アリーナ「Matsuri」
- 国際的なビッグバンドである Rebel Babel Ensemble は、ショパン、ペンデレツキ、ヘンデル、バッハ、リスト、ドヴォルザーク、ベートーヴェンの楽曲を新たに編曲し演奏。



□お菓子で世界にスマイルプロジェクト

- 開催日：7/2-6
- 場所：ギャラリー EAST
- 日本のお菓子を伝統文化と位置付け、昔懐かしいお菓子（ポン菓子、飴細工等）、現代のお菓子、未来のお菓子を世界中の皆様が見て、触って、食べて、楽しんでいただける空間。



3. 関連する主な活動／発表

- 4/3（木）、博覧会協会は、昨年6月24日に公表した「メタンガス等に関する会期中の安全対策」を踏まえ、来場者等のみなさまへの情報提供の一環として、2025年1～3月分のガス濃度測定結果をとりまとめ公表。

【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250403-03/>



- 4/4（金）、大屋根リング上で、約 70 の国と地域から約 400 人が参加して一つのボールをつなぐイベント「世界キャッチボールプロジェクト」を開催。オープニングセレモニーでは、古賀 経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣が開会宣言をし、第一投を投球。プロ野球ヤクルトの元選手・監督・古田敦也さん、タレントのはるな愛さんらも参加。



【写真提供】世界キャッチボールプロジェクト実行委員会

- 3/28（金）、在コロンビア日本国大使館は同公邸にて、万博機運醸成レセプションを開催。高杉在コロンビア日本国大使、アビラ外務副大臣を始めとしたコロンビア政府関係者、現地報道関係者、現地企業等、約 100 名が出席。高杉大使より万博のテーマ等の説明を行ったほか、コロンビア側からはコロンビア・パビリオン等についての説明があった。イベントの様子は現地主要紙にて報じられた。



左：左はカバジェロ・プロコロンビア総裁。背景は、メデジンの花祭のパレードで背負う「シジェタ」。コロンビア・パビリオンのテーマである「百年の孤独」の黄色い蝶と、EXPO2025 のロゴをあしらっている。



右：現地報道機関による、高杉大使インタビューの様子

【写真提供】在コロンビア日本国大使館

4. 今週以降の主な予定

- 4/9（水） 万博会場をメディア公開（メディアデー）
- 4/12（土） 開会式
- 4/13（日） 開幕

5. 今週の 60 秒解説

- 4/1(火)世界に向けて、日本の食の魅力を発信！ 未来型レストランの注目ポイントはここだ①(養殖魚も、寿司チェーンも超進化型)

- ・未来に向けたレストランが勢ぞろい！
- ・「養殖」で水産資源の枯渇への解決策を提案！

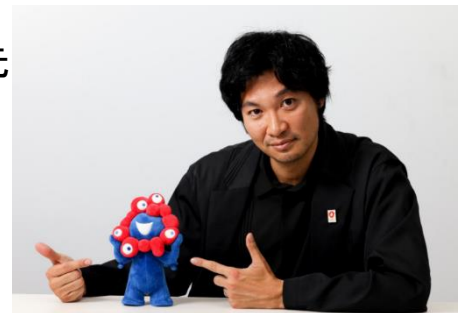
<https://journal.meti.go.jp/p/38558/>



- 4/2(水)「僕と一緒にワクワクしませんか」。スペシャルサポーター青木崇高さんが語る、万博、地域、子どもたちへの思い

- ・「八尾の魅力大使」そして万博——。30代後半から地元
- ・カルチャー、技術……世界を五感で感じたい
- ・余材でアート作品を制作。「平和」への思い込める

<https://journal.meti.go.jp/p/38815/>



- 4/3(木) 日本初！「合成燃料」を使用したバスが来場者を運びます

- ・「合成燃料万博シャトルバス」が爆誕！
- ・CO₂(二酸化炭素)とH₂(水素)で製造する低炭素な燃料
- ・国内初！合成燃料製造実証プラント

<https://journal.meti.go.jp/p/38826/>



- 4/4(金)会場はペロブスカイト太陽電池の社会実装の最前線！

- ・衣服で発電!? 発電できるユニフォームが登場
- ・世界最大級のペロブスカイト太陽電池も

<https://journal.meti.go.jp/p/38864/>



- 4/7(月) 世界に向けて、日本の食の魅力を発信！ 未来型レストランの注目ポイントはここだ②(グルテンさようなら)

- ・世界が注目する「グルテンフリー」食品を提供！

<https://journal.meti.go.jp/p/38613/>



<METI Journal「大阪・関西万博特集」ページはこちら>

<https://journal.meti.go.jp/banpaku/>



<公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら>

<https://www.expo2025.or.jp/>



<週報のバックナンバー(過去発行分)はこちら>

<https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/shuho.html>



6. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1)

指摘事項

- 4日から始まった3日間のテストランでは、入場口は来場者で滞留するなど多くの課題があったのではないかと指摘された。

【事実関係】

- 4月4日（金）から6日（日）にかけて、開幕前に一般の方に来場いただき、会場内のオペレーションについて確認するため、試行的な運営を行うテストランが実施され、10万人を超える来場者が参加。
- 5日（土）は、入場ゲートでの待ち時間が1時間を超えるという課題もあったが、6日（日）には、入口の利用ゲート数を増やすなどの対策を講じたことにより、指定時間内に来場者が入場できたところ。
- 一方で、一時的に人の流れが滞留したことから、夢洲（ゆめしま）駅から会場への階段の通行を一時停止する運用を行った。
- これらの課題については、早急に見直しを行い、万博開幕の4月13日に来場者が安心してお越し頂けるよう準備を進めていく。

(2)

指摘事項

- 5日に、会場内で基準値を超えるメタンガスが検出されているが、会場は安全なのかと指摘された。

【事実関係】

- 4月5日、グリーンワールドエリアの東トイレ付近で爆発下限界以上のメタンガスが検出されたことは事実。
- 会場内のメタンガスについては、
 - ・グリーンワールドエリアのその他の地下ピットにおいて、基準値を超える濃度は検出されておらず、
 - ・当該地下ピットにおいても、蓋を開けて換気を行ったところ、メタンガスは検出されなくなったことから、局所的かつ一時的に濃度上昇があったものと考えられ、会場全体に広がるような事象ではない。
- 今回ガスが検出された地下ピットについて、蓋を常時開放することとし、周辺箇所も含めてモニタリングの頻度を上げていくなどの追加対策を講じることにより、更なる安全確保に万全を期すこととしている。
- いずれにせよ、万博開幕の4月13日に来場者が安心してお越し頂けるよう、関係省庁と自治体、博覧会協会が連携し、本件も含めた安全確保に取り組んでいく。